

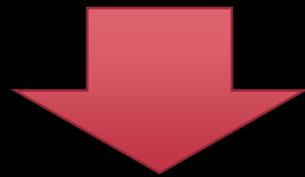
外来での感染予防のための 問診票の導入に関する評価

山本洋行¹⁾， 矢野久子¹⁾， 長崎由紀子²⁾， 前田ひとみ³⁾，
堀田法子¹⁾， 脇本寛子¹⁾， 岩田広子²⁾， 鈴木幹三⁴⁾

- 1) 名古屋市立大学看護学部
- 2) 名古屋市立大学病院
- 3) 熊本大学大学院生命科学研究部
- 4) 名古屋市緑保健所

はじめに

- ◆ 感染症をめぐる様相の急激な変化
- ◆ 外来は—感染症の最前線
 - 患者-職員間，患者-患者間で感染が拡大するリスクが高い
 - 標準予防策の徹底が重要



- ◆ 外来で感染症を疑う症状のある患者の振り分けが重要

目的

- ◆ **外来**での感染予防策として、感染症の症状に関する**問診票**の有効性を評価する



方法

【期間】 2009年10月～2010年3月まで

【対象】 A病院の外来を受診した**初診患者**

【方法】

医事情報と**問診票**を照合しSPSS (Ver. 18)にて解析

・ 医事情報：

年齢・性別・受診日時・診療科・確定診断名

・ 問診票：初診外来受付で記入

【倫理的配慮】

2009年8月 名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会とA病院部長会議にて研究倫理の承認を得た

問診票の質問項目

患者基礎情報

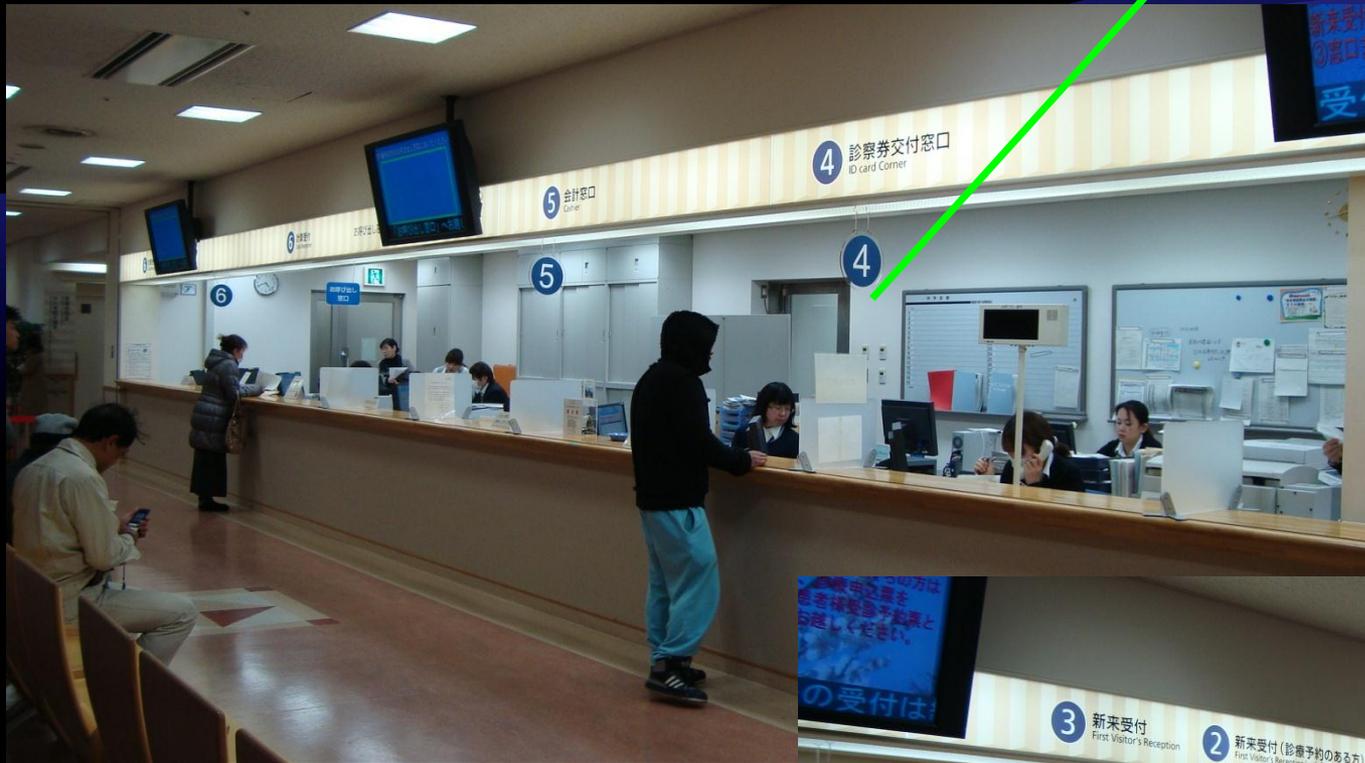
◆ 氏名， 生年月日， 受診日時， ID番号

問診項目

- ① 高い熱（38℃以上）がある
- ② 咳がでる
- ③ のどが痛い
- ④ 鼻水/痰が出る
- ⑤ 身体の節々が痛い
- ⑥ 身体に発疹がある
- ⑦ 下痢/嘔吐の症状がある
- ⑧ 目の赤み/異物感（ゴロゴロした感じ）がある

初診外来受付

オープン
カウンター



結果

- ◆ 初診患者8,378名中有効回答数7,293名
(回収率87.0%)

問診票チェックの人数

n=7,293

1項目以上チェック

人数

%

あり

1,882

25.8

なし

5,411

74.2

問診項目別回答人数の内訳

n=7, 293

問診項目

回答人数

合計

%

①高い熱がある

401

5.5

②咳がでる

717

9.8

③のどが痛い

501

6.9

④鼻水/痰が出る

791

10.8

⑤身体の節々が痛い

441

6.0

⑥身体に発疹がある

206

2.8

⑦下痢/嘔吐の症状がある

309

4.2

⑧目の赤み/異物感がある

242

3.3

問診票チェックと感染症の確定診断人数

n=7, 293

1項目以上チェック

感染症の確定診断

人数

人数

%

あり

1, 882

199

10. 6

なし

5, 411

14

0. 2

} **

(χ^2 検定 **p<0. 01)

インフルエンザ確定診断人数と問診項目の内訳

n=164

問診項目

インフルエンザ 確定診断

人数

%

①高い熱がある

150

91.5

②咳がでる

133

81.1

③のどが痛い

90

54.9

④鼻水/痰が出る

86

52.4

⑤身体の節々が痛い

76

46.3

⑥身体に発疹がある

0

0.0

⑦下痢/嘔吐の症状がある

22

13.4

⑧目の赤み/異物感がある

18

11.0

問診項目①とインフルエンザ確定診断人数

n = 7, 293

問診項目①

インフルエンザ確定診断

発熱	人数	あり	%	なし	%
あり	401	150	37.4	251	62.6
なし	6,892	14	0.2	6,878	99.8

**

(χ^2 検定 ** p<0.01)

問診項目②とインフルエンザ確定診断人数

n = 7, 293

問診項目②

インフルエンザ確定診断

咳	人数	あり	%	なし	%
あり	717	133	18.5	584	81.5
なし	6,576	31	0.5	6,545	99.5

**

(χ^2 検定 ** p<0.01)

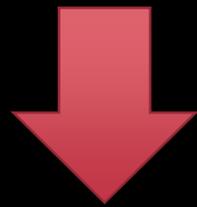
インフルエンザ確定診断別の診療科内訳

	1項目以上 チェックあり		インフルエンザ 確定診断人数	
	人数	%	合計	%
総合内科	594	28.4	74	44.3
臨時外来	141	6.7	62	37.1
救急	116	5.5	20	12.0
小児科	105	5.0	7	4.2
その他	1163	55.6	4	2.4

重複あり

考察

- ◆ 問診票にチェックのある患者は感染症の頻度が高いため、**受付職員等**の適切な対応が必要
- ◆ **発熱**や**咳**がある患者は、インフルエンザの可能性があり、**受付受診時**に適切な対応が必要
- ◆ **総合内科**や**臨時外来**などはインフルエンザの受診者が多いので**飛沫感染予防対策**が必要



問診票を利用し、**病院受付**や**待合**での感染症伝播予防策を行えば、**問診票は有用**